

2022年1月26日

保護者各位

聖ウルスラ学院英智高等学校  
校長 伊藤 宣子

立春を目前に、まだまだ雪の舞う寒い日が続いております。

保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

陽性確認されたお子様は、1月23日時点で「完治」との報告を受け、病院より登校可能との診断がでたとのことでした。

また社会の状況を鑑み、生徒を守り学業の保証を考える感染防止の観点から、オンライン授業（一部ハイブリッド型授業）を実施して参りましたが、ご協力を賜りましたおかげで、21日のオンライン授業開始期間から本日時点まで、高等学校における陽性者はでておりません（家庭内濃厚接触者：陰性・自宅待機生徒のみ）。全国大会に繋がる特別許可での試合に参加した部活動の生徒・教員は、全員PCR検査を求め、結果報告の上で出校という流れを必須としております。陰性結果後の発熱者は、そのまま再度発熱外来を受診し、現在PCR検査待ちで自宅待機をしております。共に行動した生徒・教員はホテルで自主隔離中です。ご家庭での感染対策と授業の両立へのご協力に感謝申し上げます。

おかげさまをもちまして、2月の初旬に高等学校の一般入試を無事に執り行う運びとなりました。一週間ほどオンラインの授業もない状態で入試に関わる自宅学習期間を終えると、二週間ほどで学年末考査がございます。この期間の課題などに関しましては各教科担当から伝達済と存じますが、今年度の総まとめとしての定期テストへの準備もしっかりと為されることを期待しております。

ご家庭におかれましても、長期にわたる自宅での学びに気の緩みが見られないよう、お声がけいただければ幸いです。次の出校日は、T1・T2が2月5日（土）、尚志は2月8日（火）です。8日からは再び全コースがそろい、校舎内で元気な授業への参加の姿が溢れることを楽しみにしております。

引き続き、お子様方の体調管理と自己成長の日々をお見守り下さいますよう、お願いいたします。また、保護者の皆様におかれましても、くれぐれもご自愛くださいますよう、お祈り申し上げます。